

令和3年第2回（6月）
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	田川正治
2	案浦兼敏
3	宮崎広子
4	川口晃
5	本田芳枝
6	井上正宏
7	福永善之
8	古家昌和
9	安藤和寿
10	山脇秀隆

通告順 NO. 1 質問者10番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>新型コロナウイルス感染症防止対策のために、全町民を対象にしたPCR検査体制の確立と、ワクチン接種体制の確立・強化・促進について</p>	<p>以下、5項目について町長の考えを問う。</p> <p>(1) PCR抗原検査を粕屋医師会などと連携して、糟屋郡内や粕屋町独自で全町民を対象にして、PCR検査を希望する人に実施すべきと考えるが</p> <p>(2) PCR抗原検査を幼稚園、保育所、小中学校、学童保育所などで粕屋町独自に公費負担し検査し、クラスター防止対策を検討すべきだが。また、高齢者や障がい者施設などのPCR検査の進捗状況と未実施の施設箇所は</p> <p>(3) ワクチン接種の受付時間帯に、ウェブやスマホ、携帯・固定電話が集中し、申し込むことが困難で断念する人が多い。受付方法と体制強化を検討すべきだが</p> <p>(4) 高齢者のワクチン接種漏れ防止のため、80歳以上を特定して優先して接種することなど検討すべきだが</p> <p>(5) 集団接種と個別接種が始まり接種者が増えているが、全町民・高齢者が身近な施設で早期に終了できるように、接種できる施設や病院を増やすべきと考えるが</p>	<p>町長</p>
<p>新型コロナウイルス感染症と共存・共生する時代での福祉の向上、社会的弱者や災害避難時の支援体制の確立について</p>	<p>(1) 高齢者の認知症発症に影響が大きい難聴者を対象に、補聴器の購入費の一部を補助するために、町としても制度化すべきではないか</p> <p>(2) 生理用品の入手に苦勞する児童・生徒の学習と健康を守るため、小中学校のトイレ等に災害備蓄品を活用して設置すべきではないか</p> <p>(3) 小中学校の体育館にエアコンを設置するために、減災・防災事業債を活用して、災害避難所の環境を整備するために検討されたのか</p> <p>(4) 児童・生徒が自宅でタブレット学習に使用する器具の破損については、町での保険適用を検討すべきではないか</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>
<p>老朽化した町立保育所の建て替えは3月議会で、建設のための設計予算が計上され、議員全員賛成で可決成立しました。その後の取り組みについて</p>	<p>(1) 中央保育所は園庭に建て替えて、令和5年5月完成で9月に開所する計画になっていますが、建設計画や建設費用など具体的・総合的な事業案を検討されたのか</p> <p>(2) 仲原保育所を建て替えるために必要な、園庭以外の建設可能な場所の確保などは検討されたのか</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 2 質問者 7番 案 浦 兼 敏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業について、町民の意見や他町の取組みをもとに、町長の考えを問う。</p> <p>(1) ワクチンの供給見通し・町独自の優先接種順位について ①現在の供給状況や将来の見込み及び配分計画はどうなっているのか ②町独自の優先接種順位は設けていないのか ③65歳以上の高齢者へのワクチン接種は、いつまでに完了する見込みか</p> <p>(2) 集団接種について ①予約の対象年齢を、他町のように細分化（75歳以上など）しなかった理由は ②予約の申し込みは、電話・インターネットだけでなく、はがき・ファックスでも対応できなかったのか</p> <p>(3) 個別接種について ①予約開始時期を集団接種と合わせられなかったのか ②医療機関毎の接種可能日（曜日）と定員を示すことができないのか</p> <p>(4) 高齢者施設における接種について ①高齢者入所者及び施設従事者へのワクチン接種のスケジュールはどうなっているのか</p> <p>(5) 情報提供のあり方について ①今回の事例を参考に、災害時などの情報提供のあり方を研究してはどうか</p>	<p>町長</p>
<p>町立保育所の役割と今後のあり方</p>	<p>中央保育所の建て替えに向けて、町立保育所の役割と今後のあり方について、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 令和2年3月に改定された「子ども子育て支援計画」では、今後の保育所・幼稚園のあり方や児童施設の整備について、どのように考えられているのか</p> <p>(2) 今年度当初予算に中央保育所建て替えのための設計費が計上されているが、建て替え工事費の概算額はどの程度か。また、財源の内訳はどうなるのか</p> <p>(3) 子育てしやすいまちづくりを進める粕屋町において、町立保育所の役割をどのように考えているのか。 また、教育・保育の無償化に伴い入所者が減少している町立幼稚園を含めた児童施設のあり方や老朽化している施設の整備について、早急に検討すべきではないか</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 3 質問者 4番 宮崎 広子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>ヤングケアラーの実態とその支援について</p>	<p>厚生労働省・文部科学省は、今年度4月にヤングケアラーに関する実態調査結果をまとめた。それによると、中学2年生で5.7%、高校生で4.1%が「世話をしている家族がいる」と回答。1学級に1～2人のヤングケアラーがいる可能性が示された。</p> <p>(1) 粕屋町のヤングケアラーは、どのくらい存在すると把握しているか。小学生・中学生・18歳以下の高校生でそれぞれどのくらいか</p> <p>(2) ヤングケアラーには、どのような相談機関があるか。また、相談はあっているか。だれが相談しているか</p> <p>(3) ヤングケアラーが、学校に来ているときスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談できると思うが、ヤングケアラーの相談件数はどのくらいか</p> <p>(4) ヤングケアラーを見つけるのは、教員によるところが大きい。職員研修は行われているか。研修後、効果はあがっているか</p> <p>(5) ヤングケアラーが、自分の時間を持ち学習する時間や自分の楽しみのための時間を保証するためには、どのような手立てがあるか</p> <p>(6) ヤングケアラーが、安心して学習に集中し友達を作れるように、ヘルパーなどの支援を受けることができるか</p> <p>(7) 19歳以上の過去ヤングケアラーで、学習の保障ができなかった方々に、夜間教室など学習する機会を与えることができるか</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>特別支援教育について</p>	<p>(1) 粕屋町には、多くの特別支援学級があるが、担任の特別支援学校免許を持っている割合はどのくらいか</p> <p>(2) 各学校に特別支援教育リーダーコーディネーターは、配置されているか。できていなければ、拠点校を決めて配置できないか</p> <p>(3) コロナ禍の中、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者との連携を、どのような方法ではかっているか。例えば運動会の参観がなくなった時に、その練習風景をインターネットを使って動画で配信したり、特別支援学級独自のホームページなどを作って連携をはかることができるか</p>	<p>町長 教育長</p>

通告順 NO. 4 質問者 9番 川口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止と住民生活の支援問題について</p>	<p>(1) 現状をどう認識すべきか ①粕屋保健福祉事務所管内の患者（陽性者・重傷者・入院者・自宅待機者）の動態＝推移について ②現在粕屋保健福祉事務所管内でとられている、拡散防止のための具体的な取組みについて</p> <p>(2) 無症状感染者を把握・保護するための大規模なPCR検査が必要ではないか</p> <p>(3) ワクチン接種を早急に進めるために何が必要か</p> <p>(4) 青年と学生支援の方策はあるか ①町独自の支援については考えがあるか ・食料品や日用品の配布 ・県外の学生に対する米や食料品の送付 ②学生に対しての奨学金の創設はどうか</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>少人数学級の推進の方策について</p>	<p>(1) 『適正な学級規模の条件』に関して考えを問う</p> <p>(2) 粕屋西小学校校区に新たな小学校・中学校の建設を考慮できないか</p> <p>(3) 教員の増員については、どういう現状か</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>災害対策を進めるための方策について</p>	<p>(1) 仲原川の浚渫と釜屋橋の改築について問う</p> <p>(2) 柚須文化センターの改築問題について問う</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 5 質問者13番 本田芳枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>困窮家庭への支援としての生理用品無償配布について</p>	<p>コロナ禍で、「生理の貧困」が問題になっています。生活苦にあえぐ親の様子から生理用品購入代を言い出せなくて我慢している女の子がいるのではと気になっています。生理用品に関しては、昨年11月にスコットランドで生涯無償配布となり、英国では購入時にかかる付加価値税（消費税）を廃止することになりました。国内でも無償配布を行う自治体も現れています。福岡県も災害用備蓄品の中の生理用品を必要とする団体へ配布すると決められたようです。粕屋町でも必要としている児童・生徒への無償配布を考えられたらどうでしょうか。</p> <p>(1) 現状は</p> <p>(2) 小中学校に一定程度の数を用意し、必要に応じた養護教諭による配布はどうか</p> <p>(3) 男女共同参画推進計画後期計画基本目標Ⅳにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に関する理解の促進についての考えを問う</p>	<p>町長</p>
<p>令和3年度福岡県男女共同参画推進課主要事業計画の活用について</p>	<p>(1) 災害対応人材育成事業参加の応募状況は</p> <p>(2) 若年層における交際相手からの暴力防止対策事業への講師派遣についての考えを問う</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>粕屋町男女共同参画推進条例改正に伴う事業の進捗状況について</p>	<p>(1) 苦情処理委員の任命は</p> <p>(2) 救済事業の周知及び今年度の事業計画は</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 6 質問者 6番 井上正宏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
産学官との連携について	<p>(1) 粕屋町都市計画マスタープランの78ページ第6章-2の(1)の中に産学官の連携とありますが、都市計画にかかわらず、今後の新型コロナウイルス感染対策については、国や県の指示待ちではなく、町民の安心・安全を守るために、産学官との連携にたった町独自の感染対策は何か考えてあるか</p> <p>(2) 粕屋町出身で現在、九州工業大学大学院工学研究院長横野照尚（おうの てるひさ）教授が新型コロナウイルス対策として、今までとは違った世界唯一の光触媒「ナノ構造制御型次世代光触媒技術」を開発され、様々な施設で実験された結果、第三者機関で新型コロナ不活化に効果があるとマスメディアで報告されている。福祉センターにおける集団接種会場での光触媒技術を利用した無償の消毒の協力ができるかと横野教授に言っていたが、その協力の申し出に対する町長の考えは</p> <p>(3) 今後、町独自の新型コロナウイルス感染拡大防止及び町民の安心・安全策の具現化を図るためにも、変異型に対する研究を続けていくために、横野教授と町が行う産学官の連携について、町長の考えは</p>	町長
カーボンニュートラル宣言について	<p>(1) 今盛んに叫ばれているカーボンニュートラルは、我が国の多くの自治体（町村レベルに至るまで）や事業者による様々な取組（県内6市町が、カーボンニュートラル宣言をしている）が表面化し始めているが、町長はこの流れをどう考えてあるか</p> <p>(2) 国（環境省及び経済産業省）からカーボンニュートラルについて、粕屋町に具体的な通知は何か届いているのか</p> <p>(3) 草刈りをした後の草を焼いたり、田や畑で野焼きをしている方が一部まだ見受けられます。そのような対策など、粕屋町は、カーボンニュートラルの主旨に対して具体的な施策は何か考えてあるのか</p> <p>(4) 粕屋町の将来の町づくりを担っていく児童、生徒たちに一歩も二歩も踏み込んだ、カーボンニュートラルの教育の充実を教育長はどう考えるか</p>	町長 教育長

通告順 NO. 7 質問者 11 番 福 永 善 之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
消防団の在り方について	<p>この事案は、令和元年9月議会で行っている。</p> <p>(1) 先の議会答弁では、「消防団員に対する報酬は、各分団に支払われており、運用を変える必要はない。」との答弁であった。現在もその方針に変わりはないか</p> <p>(2) 団員の確保は、順調に進んでいるのか。もし、そうでなければ、どのような対策、計画があるのか</p>	町 長
清掃センター解体工事について	<p>粕屋町は、建設工事に関する予定価格を事前公表(¥873,400,000)、最低制限価格を事後公表(¥786,060,000)としている。 この工事は、指名競争入札が適用されている。</p> <p>(1) 要綱の基準どおり、8JVを指名したが、3JVが辞退した。辞退に至った理由は何か。 また、8JV以外に基準に適した業者は存在しなかったのか</p> <p>(2) 入札に参加した5JVは、全て予定価格の90%で応札をしており、この額は、最低制限価格である。 5JVが事後公表の最低制限価格で応札することに対し、工事発注者として、どのように捉えているのか</p> <p>(3) 町が指名した業者が、入札前に指名を辞退し、落札した業者の下請けで工事を請け負うことに対し、工事発注者として、どのように捉えているのか</p> <p>(4) 予定価格を事前公表することは、地方自治体の判断になる。事後公表へ変更する考えはあるか</p>	町 長
区費・組合費について	<p>昨年3月から、新型コロナウイルス感染拡大による、小中学校の休校措置を始め、各行政区・各組合が年間計画で予定していた行事も中止・延期となる状況が、現在進行形で続いている。行政区・組合の運営費は、区民(世帯ごと)から、区費・組合費として徴収して成り立っている。 町は、行政区の運営には関与していないので、区費・組合費については把握せず、との立場である。</p> <p>(1) 行政区の決算で、次年度へ繰越額が発生した場合、以下のように考えているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防犯灯の設置に対する補助額 ②バス停留所(新設・修理)に対する補助額 ③放送施設工事に対する補助額 ④消防施設に対する補助額 ⑤行政区選出の役員報酬 	町 長

(2) 予算・決算の資料配布を紙ベースと併用した各世帯への電子配布、及び各世帯の意見集約のデジタル化への取組に対し、町として協力する考えはあるのか

(3) 本町において令和3年3月31日付「小中学生のための粕屋町の歴史（令和版）」が発行されました。私自身数ヶ月前まで社会教育委員を務めていたこともあり、大変興味を持って拝読させていただいております。全文に渡り漢字にはルビがふられ、フォントと文字サイズ、写真やイラストと文章のバランスなど全般に渡りかなりの配慮がみられます。今後この冊子を教育の現場や町民へどのような形で普及、利用していく予定であるのかお尋ねします。また、作成にあたり思いなどありましたら、併せてお聞かせ願います。

町 長
教育長

通告順 NO. 9 質問者15番 安藤和寿

質問事項	質問の要旨	質問の相手
LED化推進について	<p>今年度当初予算において町内全域に設置している街路灯及び駕与丁公園内の照明のLED化により省エネルギー化の推進とランニングコストの大幅な削減が見込まれていますが、他の屋内照明及び夜間照明について問う。</p> <p>(1) 公共施設における屋内・屋外運動場を含むLED化が進んでいない残りすべての照明灯数は</p> <p>(2) 2021年以降「水銀に関する水俣条約」により製造・輸出入が規制される（現在使用中及び国内の在庫は2021年度以降も使用できる）。国内の在庫が無くなれば調達出来なくなることから、公共施設におけるPCB使用安定器照明の現状と課題は</p> <p>(3) 政府が推進するLED照明の導入について、公共施設で活用できる補助金は</p> <p>(4) 町内を含む指定電気工事業者など経済振興から雇用促進・経済の活性化が出来ていた従来型工事請負契約からリース方式で進められていますが、町内の業者並びに現在の指定業者への受注の機会が失われるのではと考えられるが</p>	町長 教育長
学校のグラウンド照明について	<p>昭和52年旧粕屋中学校（現在粕屋中央小学校）、昭和59年粕屋東中学校のグラウンド照明設備が完成し、現在に至っています。防災・スポーツ振興の観点から問う。</p> <p>(1) 学校グラウンド照明を設置推進した経緯は</p> <p>(2) 防災の観点から町内小・中学校は緊急避難場所に指定されています。グラウンド照明の防災計画の位置づけは</p> <p>(3) グラウンド照明における、生涯スポーツ振興の位置づけは</p> <p>(4) グラウンド照明における、LED化の計画は</p> <p>(5) 政府が推進するLED照明の導入で活用できる補助金は</p> <p>(6) 設置されていない4校のグラウンド照明の設置計画は</p> <p>(7) 熱中症予防・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から密を防止するため、分散利用をする必要があると思うが、新しい生活様式における学校グラウンド照明の必要性は</p>	町長 教育長

通告順 NO. 10 質問者14番 山 脇 秀 隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>ワクチン接種後における高齢者の働き方について</p>	<p>3回目の緊急事態宣言が延長される中、国は、「高齢者のワクチン接種を7月末までに終わらせるように。」と各自治体に勧告しました。順次64歳以下に対して全員のワクチン接種を目指しています。福岡市長は、「5か月後にすべての市民のワクチン接種を終わらせる」と宣言しています。医療崩壊や経済の停滞、そして事業者の不安を払拭しようとしているのは、明らかです。</p> <p>しかしながら長期のコロナ禍により経済的、精神的ダメージを受けている方が多くみられます。いち早くワクチン接種後の経済の戻りを期待して、コロナ禍の今から対策を実行している企業もあります。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後の見込みは</p> <p>(2) 町内事業者は、ワクチン接種後の経済の復活を願っています。しかし、疲弊している今、従業員の確保や店舗の維持に我慢を続けていますが、倒産や雇止めなど避けられない状況があります。転職を余儀なくされ、雇用の喪失が続き、いざ始めるにも人材の不足が見込まれます。そうした中でも高齢者の働き口は、皆無に等しい状況が考えられます。現状のシルバー人材センターの役割は</p> <p>(3) 「高齢者が安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちづくり」を理念としている地域包括ケアでは、自立した日常生活を目指しています。ポストコロナの高齢者の働き方をどう考えるか</p> <p>(4) 高齢者のためのジョブカフェの設置の考えは</p>	<p>町 長</p>